

# 毒性に関する知見のとりまとめ方針(案)

## 1. 項目

- 実験動物等における毒性
  - (1) デオキシニバレノール (DON)
    - ① 急性毒性
    - ② 亜急性毒性
    - ③ 慢性・発がん性
    - ④ 生殖発生毒性
    - ⑤ 遺伝毒性
    - ⑥ その他 (免疫毒性・血液毒性等)
  - (2) ニバレノール (NIV)
    - ① 急性毒性
    - ② 亜急性毒性
    - ③ 慢性・発がん性
    - ④ 生殖発生毒性
    - ⑤ 遺伝毒性
    - ⑥ その他 (免疫毒性・血液毒性等)
  - (3) DON と NIV の複合毒性
  - (4) その他
- ヒトにおける知見

## 2. 文献を整理する際の留意点

- 試験に供したサンプルに DON (あるいは NIV) 以外のかび毒が含まれている可能性を考慮し、評価書では精製サンプル等を用いた試験結果を基に整理を行い、TDI の検討を行う。(自然汚染試料を用いた試験については、他のかび毒汚染による影響も考えられることから、参考試験として別表で整理する。)
- 原則として、原著論文が入手できたものを基に整理を行う。(総説のみで原著論文が確認できないものについては、TDI の設定根拠とはしない。)